

市には、令和6年4月に総合福祉センター内に移転した「中央公民館」と、「松岡地区公民館」を中心に、市の自然・歴史、健康、安全、音楽などを学べる場があります。今回は、その中から、公民館講座の一つ、「高萩のぞみ大学」を紹介します。新しい季節とともに、学びを深めてみませんか。



高萩まつり

初めての流し踊り。練習の成果が実り、祝！入賞

レクリエーション大会

「楽しい」は元気をつくる。一緒になら、もっと元気に。



海岸清掃

高萩の自然を守るために、積極的に環境美化も。

市政を学ぶ

市長の講話を聞き、高萩について学びます。



移動学習

さまざまな場所へ足を運び、1日楽しく学びます。

高萩のぞみ大学

高萩のぞみ大学は、昭和47年(1972年)に開講して、50年以上の歴史を紡いできました。

4年制の公民館講座として、現地研修などの移動学習や公民館まつりなどへの行事参加・クラブ活動も行い、地域との結びつきを深め、仲間づくりを通じて、生きがいづくりを目指しています。

参加している皆さんは、人と人との「つながり」と「学び続けること」を大切に、笑顔で大学生活を送っています。

- ▶ **入学要件** 60歳以上
- ▶ **定員** 各学年 20人(市民優先)
※募集は1年生のみ

沿革

- 1972年 老人学級 開講(1年間)
- 1973年 老人大学 開講(1年間)
(老人学級の修了者を対象)
- 1974年 老人大学院 開講(1年間)
(老人大学の修了者を対象)
⇒3年間の学習システムに
- 1980年 老人大学が2年制に
⇒4年間の学習システムに
- 1981年 老人学級・大学・大学院を統合して「高齢者大学」に改名
- 2003年 「高萩のぞみ大学」に改名
現在に至る

人に——聞く

学ぶ

今年度唯一の卒業生である
水戸さんに、学びのきっかけ
について聞きました。

入学のきっかけを教えてください。

友だちに「面白くていろいろ体験
できるところがあるよ」と誘われ、
コロナ禍でも外に出たいと思い、
入学しました。

印象に残っている講座を 教えてください。

すべての講座が印象的で、体験
しながら学べる講座が多くありま
す。

お琴の講座では、実際に弾いて
みると難しさを感じました。体験
後に先生の演奏を聴くと、より感
動的でした。

卒業を迎えるにあたって、 メッセージをお願いします。

まだまだ学びたい、体験したい
と思います。自分一人では難しい
ことでも、みんなと一緒に楽し
く行えます。

自分のペースで活動できますし、
一歩踏み出せば、楽しいことが待っ
ていますよ。



公民館スタッフと相談したり、外部講師を招いたりして、さまざまな体験学習を学生自らが企画。
楽しみながら学生生活を送ります。

コロナ禍の危機を乗り越え

歴史ある高萩のぞみ大学も、コ
ロナ禍では、行事の制限や中止な
どにより、学生が途絶えてしまう
危機もありました。

節目の第50期・令和3年度の入
学生は3人でしたが、この春卒業
するのは水戸さんただ1人。

しかし、公民館スタッフのサ
ポートと、何より学生の皆さんの
楽しい雰囲気にかかれ、現在では
48人が在籍。

学びの輪が繋がり、生涯学習実践
者のモデルとして活躍しています。



高萩のぞみ大学
第50期生
水戸 早苗 さん

であい、ふれあい、まなびあい

中央公民館・松岡地区公民館

公民館は、身近で自由に学べる場所であり、学習と実践を通して地域を作る、学び・交流の拠点の役割を担っています。

市では、公民館活動を通して、皆さんの生涯現役を応援します。



公民館スタッフへ
お気軽にお声がけください！



中央公民館

住所 春日町3-10（総合福祉センター内）
電話 23-1125（生涯現役推進課）

松岡地区公民館

住所 下手綱787-1
電話 24-0424

※R6.4月より、施設集約化のため、総合福祉センター内に中央公民館機能を移転しました。